

も く じ

こうれん ふくい

令和7年度の県公連

- 第36回福井県公民館セミナー〔前期〕報告……………2～3
- 第74回福井県公民館大会報告……………4～5
- 第36回福井県公民館セミナー〔後期〕報告……………6～7

特集「公民館訪問」

- 大野市下庄公民館・若狭町三十三公民館……………8～9

こうれんトピックス

- 全国公民館研究会東京大会報告・広報紙委員を務めて…10
- 優良公民館表彰・広報紙コンクール入賞館……………11
- 令和8年度事業予定……………11
- 令和7年度表彰受賞者……………12

令和7年度の県公連

第36回福井県公民館セミナー〔前期〕

みんなワクワク♡ 地域を元気にするしかけ！



講師：浜松市中央区まちづくり推進課 主任 / 社会教育士 野嶋 京登 氏

令和7年6月27日（金）福井県立図書館 多目的ホール 参加者74名（2～3ページに関連記事）



第74回福井県公民館大会

地域の魅力を次世代へつなぐ公民館 ～地域の文化を活かす～

令和7年10月22日（水）あわら市 あわら温泉清風荘
参加者249名（4～5ページに関連記事）

第36回福井県公民館セミナー〔後期〕

パツと伝わるチラシに！ やってはいけないデザイン講座



講師：グラフィックデザイナー / （公社）日本広報協会 広報アドバイザー 平本 久美子 氏

令和7年11月26日（水）福井県生活学習館 映像ホール 参加者80名（6～7ページに関連記事）

みんなワクワク♡

地域を元気にするしかけ！

講師 浜松市中央区まちづくり推進課主任・社会教育士 野嶋京登氏
令和7年6月27日(金) 福井県立図書館多目的ホール 参加者 74名



▲「浜松版パーラー公民館 あおぞら協働センター」建物から外に立たことで、幅広い世代交流を実現



▲「コミュニティ・アシスタント (通称コミ・アシ)」の若者たち
大事なのは信頼関係の構築！

令和7年6月27日(金)、福井県立図書館多目的ホールにて、「みんなワクワク 地域を元気にするしかけ！」をテーマに前期セミナーを開催しました。

講師は、浜松市中央区まちづくり推進課の社会教育士、野嶋京登(のじまきょうと)氏。「地方公務員が本当にすごい！と思う地方公務員アワード2023」で、公民館職員として初めて受賞された注目の人物です。

公民館運営の3つのポイント

講演では、まず、公民館運営で誰でも簡単に取り組める3つのポイントとして、

- 1 来館者の顔と名前を覚えて、積極的な声掛け
 - 2 館内・館外清掃で清潔感を保つ
 - 3 多様な利用者とのコミュニケーション
- を提示されました。これらはAIには決して代われない、人にしかできないことで、公民館職員として大切な心構えであると強調されました。

浜松市のユニークな事例紹介

次に、野嶋氏が昨年度まで勤務された浜松市富塚協働センターでの様々な取り組みを紹介されました。

地域住民とともに継続してきた「浜松版パーラー公民館 あおぞら協働センター」、佐鳴湖のごみゼロ運動から始まった「佐鳴湖ごみゼロ推進キャラバン隊」、若者の地域づくりへの参加を促す「コミュニティ・アシスタント制度」の確立など、いずれもちょっとした「ひらめき」と、思い立ったらすぐ行動に移す姿勢の大切さが伝わる事例でした。



地域コミュニティの原点は
楽しい時間を共有すること

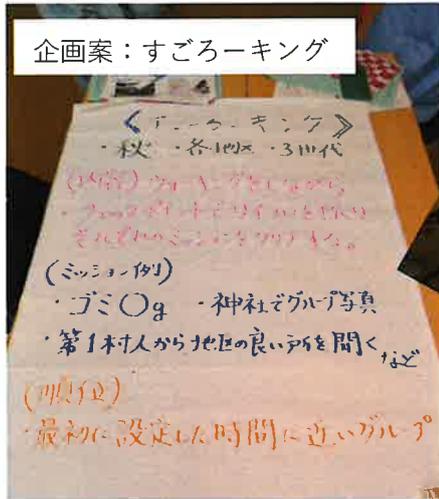


▶ごみを出さない暮らしを学ぶ「佐鳴湖ごみゼロ推進キャラバン隊」

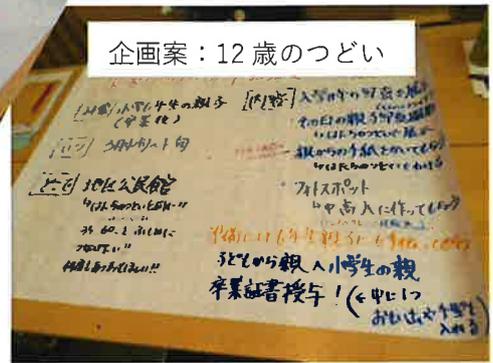


ワークショップのようす

▲午後は浜松の特産品を景品にしたクイズ&じゃんけん大会でスタート！会場、大盛り上がり



▲企画案：スカイバル



最後に野嶋氏は「研修で考えたことを公民館で必ず実践してほしい。そのためには、ひとりでは考えないで、職場や地域で仲間を見つけていることが大事です」と語りました。
野嶋氏の前向きな言葉の数々に、参加者は大きな刺激を受けました。

企画後は、各グループで出されたアイデアの共有を行いました。

- 5W1Hを明確に
- イベント自体ではなく、その後生まれる「交流」を目的にする！
- 自分のまちを愛してもらう！
- ワクワク・ドキドキ感を大切に
- 地域住民が主役になれること

野嶋氏は、しかけを考えるとときのヒントとして、次のような点を挙げられました。

「ワクワク！」
ワークショップでは「地域を元気にするしかけを考えよう」と題し、グループごとに公民館の新しいイベントを企画しました。

ふりかえりシートより

- ◇ 印象に残ったのは、公民館の活動は地域の活動である、共に一緒にやりましょうという気持ち、それには信頼を得ること。声かけ、笑顔、名前を覚えるなど今すぐにでも出来ることがある。経験の浅い自分ですが、出来ることから進んで行動したいと思いました。
- ◇ 講師の方のエネルギーがすごいと思いました。話を聞いていると、こちらも元気になる。プログラミングなど、知らなかった事も勉強になりました。
- ◇ 他の公民館の若い方と交流し、自分の知らなかった SNS 系のゲームなどを知る事ができ、ステップアップできた。さまざまなイベントのアイデアを吸収でき、自分のコミセンでできそうなものは即実践していきたいです。とてもモチベーションが上がりました。
- ◇ とにかく「すぐ実践」ですね。本当にそれが大事だと思いました。頭であれこれ考えるだけでなく、実行あるのみ、チャレンジ大切！！

地域の魅力を次世代へつなぐ公民館 地域の文化を活かす

令和7年10月22日(水)

あわら市 あわら温泉清風荘 参加者 249名



▼表彰式



▲記念講演講師
九千房英之氏



▲あわら市長
森 之嗣 氏



あり、参加者は会場ロビーに展示された入賞作品を改めて観覧していただきました。

記念講演では「地域の文化を活かした社会教育」と題し、あわら市郷土歴史資料館館長 九千房英之氏が登壇されました。九千房氏は、文化財は「日本が太古より受け継いできた宝」であり、その価値に目を向け、積極的に活用していくべきだと語られました。

第74回福井県公民館大会が、あわら市のあわら温泉清風荘にて開催され、「地域の魅力を次世代へつなぐ公民館」地域の文化を活かす」をテーマに、県内の公民館関係者が一堂に会しました。

大会受付では、あわら市公式キャラクター「湯巡権三（ゆめぐりごんぞう）」が参加者を出迎え、和やかな雰囲気の中、開会式典において福井県公民館連合会表彰16名、県公民館広報紙コンクール入賞12館が表彰されました。

続いて、あわら市長 森之嗣様をはじめ、来賓の方々よりお祝いや歓迎の言葉をいただきました。

式典後は、広報紙コンクール審査委員長 福井新聞社編集局整理部長 大橋一生様からコンクールの講評が

に出向いて出前講座を行っており、特に人気の高いテーマである「自分が住んでいる土地の地名」に隠れた歴史について、具体例を用いてわかりやすく解説されました。

さらに、「芦原温泉」についても、温泉発見の経緯や名称の由来を、現存する資料を示しながら豆知識として紹介。地元の文化財を最もよく知っている学芸員と連携し、その知見を社会教育にどんどん活用してほしいと呼びかけられました。



福井市国見公民館
松井館長・瀧下主事

事例発表



越前市北日野公民館
大塚前館長・三田村主事



アトラクション 芦原温泉芸妓協同組合



広報紙コンクール入賞館のみなさま

午後の部は、芦原温泉芸妓協同組合によるアトラクションで幕を開けました。北陸一の芸達者と称される芦原芸妓が、「祝舞 小唄 中村三番叟」と「芦原踊り」の演目を披露しました。

次に、令和6年度文部科学省優良公民館表彰を受賞した2館の事例発表が行われました。

まず、福井市国見公民館の松井司館長が「防災は絆づくりと事前対応」避難は向こう三軒両隣で」と題して発表されました。海と山に囲まれた国見地区は住民の防災意識が高く、公民館を中心に、日ごろからの近所づきあいを活かした独自の「グループ避難方式」で毎年訓練を実施されています。小中学生や高齢者への防災教育も継続してきた結果、避難訓練の参加率は90%を超え、能登半島地震の際にも迅速な避難行動が見られました。また、瀧下昭彦主事からも、これからの防災事業の方向性について説明がありました。

続いて、越前市北日野公民館の大塚孝一前館長と三田村香苗主事が、「チャンスを生かす『いこ・どこ・よこ・よこ』と題して発表されました。北日

野公民館では、地区内に北陸新幹線越前たけふ駅が新設されたことを地域活性化の好機と捉え、「岩内山」での歓迎イベントやウエルカムダンス、ふるさとの歴史をまとめた冊子や「見どころMAP」の発刊など、様々なプロジェクトを展開されました。「いつでも公民館、どなたでも公民館、用事がなくても公民館、ようこそ公民館」のスローガンのもと、花の種の無料配布や憩いのひろば設置など、住民が気軽に来館できる工夫も紹介されました。

地域の文化や魅力を見つめ直し、公民館の役割と可能性を再認識する場となりました。参加者同士の交流も深まり、今後の活動に活かせる多くの学びを得ることができた、意義深い大会となりました。



パッと伝わるチラシに！ やってはいけないデザイン講座

講師 グラフィックデザイナー / (公社) 日本広報協会 広報アドバイザー 平本 久美子 氏
令和7年11月26日（水）福井県生活学習館 映像ホール 参加者 80名

後期セミナーは『パッと伝わるチラシに！ やってはいけないデザイン講座』をテーマに、グラフィックデザイナーで(公社)日本広報協会広報アドバイザーの平本久美子氏を講師にお招きして開催しました。

平本氏は、代表著書『やってはいけないデザイン』での分かりやすい解説が、“デザイナーではないけれど、業務上チラシやポスターを作成しなくてはならない”人たちに大変好評です。

今回は特に公民館におけるチラシづくりに焦点を当て、デザインのポイントをご教示いただきました。



平本氏は講座を通して「パッと伝わるか」が何より大切だと強調されました。チラシは数秒見て興味があれば読まれません。そのため、瞬間的に内容が伝わる工夫が必要だと説明されました。

2 パッと目にとまるための鉄則
「主役を大きく作る！」
人の視線は大↓小へと移動するので、大小のメリハリをつけることで、本当に興味がある人を詳細情報のところまで誘導することができます。

1 デザインの前に必ず決めること

「ターゲット」&「ゴール」

「ターゲット」はどんな人を対象とするか、「ゴール」はチラシを見た人にどんな行動をとってほしいか。つまり、「誰に」「何をしてほしいか」を明確にすることが、チラシづくりの出発点です。

ターゲットに気づいてもらうためには、「イメージ画像」と「キャッチコピー」は必須であり、特にキャッチコピーでは、強い共感を呼ぶような、ターゲット目線のコピーにすることが重要です。

例 「女性のためのマナーアップ講座」

← 「今さら聞けない

女性のためのマナーアップ講座」

果と言えます。

3 これだけで見違える！ 「3つのデザインルール」

その1「ジャンプ率を上げる」

ジャンプ率とは、本文の文字サイズに対する見出しサイズの比率のこと(例 右ページの講座名は22ポイントで、本文11ポイントに対してジャンプ率2倍)。見出しのジャンプ率が大きいくほど、「パツと」見たときに情報が拾いやすくなります。

その2「フォントは適材適所に」

タイトル・見出しにおすすめなのは、遠くからでも読みやすい「**太いゴシック体**」、本文におすすめなのは、クセがなく読みやすい「標準のゴシック体・明朝体」。

「**手書き風フォント**」や**個性的なもの**は長文には不向きですが、アクセントとしておすすめです。

その3「余白と整列」

つい、多くの情報を詰め込んで隅までびっしり！になりがちですが、「書けば書くほど読んでもらえない」のがチラシ。ターゲットを絞った最小限の文字数に抑えましょう。



講義後の「チラシデザインクリニック」のコーナーでは、事前に募集した県内の公民館・コミュニティセンターのチラシの中から、数点を例にとってアドバイスをいただきました。その一例を以下に取り上げます。

また、質疑応答では、『白黒のチラシでも手に取ってもらうためにできることはあるか』との問いに、『コントラストが高い状態や見出しのジャンプ率を意識するなど、色以外で工夫できることがある』と力強いお言葉をいただきました。

このほか、参考にするとよいデザインサイトのご紹介や、配色や使用するソフト、また、AIの活用についても教えていただきました。
日頃の悩みに寄り添った講義内容で、これからのチラシづくりが楽しくみになる研修でした。

ふりかえり シートより

- ◇「ターゲットとゴールを決める」ということが心に響きました。たくさんの方に来ていただきたくて、あいまいなターゲットになっていたと気づきました。
- ◇“ターゲットに近い人に見てもらおうことで見直すべきところがわかる”…なるほどなと思った。
- ◇これまではこちら側の伝えたいことをこれでもかと盛り込んだ独りよがりのチラシになっていたなと反省しました。文字数はできるだけ少なく、見てくれる人の側に立ってデザインすることが大事なのだとよく分かりました。
- ◇余白はもったいないのではなくて有効なものだと知った。
- ◇生成AIを利用することについて初めて知り、とても有益だった。注意しながら活用したい。

Good ポイント

- タイトルと日付が大きい
- グリーンモチーフ
- 写真がきれい・大きい

初めてでもかわいく作れる！ 多肉寄せ植えワークショップ



※におうちの中を彩るかわいい多肉植物の寄せ植えを作ります
初めての方でもできる簡単な方法やお世話の仕方などお伝えします
※おうちにある多肉植物のお手入れの相談も受けますので、お気軽にどうぞ(植物をお持ちください)

開催日時：1月20日(土) 10時~11時30分
会場：〇〇コミュニティセンター1階ホール
講師：グリーンカフェ 〇〇〇〇さん
参加費：1,000円
申込締切：1月14日(日)までにコミュニティセンターへ
定員：15名
(定員になり次第締め切らせていただきます)

【申込み・お問合せ】 〇〇コミュニティセンター ☎〇〇-〇〇〇〇

コミュニティセンター講座のご案内 多肉植物の寄せ植え講座

開催日時：1月20日(土) 10時~11時30分
会場：〇〇コミュニティセンター1階ホール
講師：グリーンカフェ 〇〇〇〇さん
参加費：1,000円
申込締切：1月14日(日)までに 〇〇コミュニティセンターへ
定員：15名
(定員になり次第締め切らせていただきます)



【申込み・お問合せ】 〇〇コミュニティセンター ☎〇〇-〇〇〇〇

改善ポイント

- タイトル+写真で大きな「主役」を作る
- やさしい言葉でハードルを下げる
- 整列と余白のルールで読みやすく

大野市 下庄公民館

〒912-0021 大野市中野町3丁目1-16

電話 0779-66-2142



公民館のみなさん



ダックレース (右)
超シャボン玉
ワークショップ (下)



この「しもプロ」が続く要因の一つとなっているのだと感じました。

下庄地区は、直径約10kmの大野盆地の北西部に位置し、32区で構成される大野市で2番目に大きい地区です。水田を中心とした農業が盛んな地域で、中野区で生産される「中野なす」は、普通のなすより小ぶりなのが特徴で、食味が高く有名です。また、中部縦貫自動車道の大野ICも当該地区に設置されていることから、郊外商業施設も複数進出してきており、農村集落と住宅地が混在する住みよい地域となっています。

現在、下庄地区では、「下庄をよくする会」や「ふわわ女性の会」など、地域活動を担う10の団体が活動しています。

その中から、地区を拠点として活動する青年団体「下庄を楽しむプロジェクト」：通称「しもプロ」の取り組みについて、お話を伺いました。

「しもプロ」で楽しく 持続可能な地域づくり



「しもプロ」が行う「木瓜(ぼけ)川ダックレース」は、地区を流れる木瓜川の河川掃除「クリーンアップ作戦」と、かわいいうらバードアックが激走する「ダックレース」を二本柱に、12年の歴史を持つイベントです。今年オリジナルのマイダックづくりも加わり、世界に一つだけのダックたちへの声援で一層盛り上がったそうです。さらに、中学生ボランティアや大野市ジュニアリーダーといった若い世代の協力もあるとのこと、この活動が未来へ継承されていく力強さを感じます。

夏の神社境内での「超シャボン玉ワークショップ」、農業体験でのさつまいも栽培と焼き芋販売など、地域の老若男女が共に楽しみ共生できる事業も豊富です。

生まれも育ちも下庄の山村主事が事務局として一緒に楽しみながら取り組んでいる姿勢が頼もしく、この「しもプロ」が続く要因の一つとなっているのだと感じました。

まだ増える！下庄の魅力



下庄地区には25ヶ所の名所・史跡があり、その魅力を広めるため、地元高校生と協力して「名所・史跡マップ」を作成されました。そんな名所の一つ、信仰に生きる行者が修行したとされる「行人岩(ぎょうにんいわ)」を目指す登山は毎年大人気の講座とのこと。また、小学生を対象に、クイズを解きながら名所・史跡を巡るスタンプラリーも実施しており、こちらも毎回多くの子どもたちの参加があるそうです。

これからも下庄地区に現存する歴史や文化を伝承しつつ、新しい魅力創出を担う拠点として、公民館活動に尽力していきたいと、熱く語ってくださいました。

おすすめ!! スポット



中野清水(なかのしょうず)
下庄の東に位置し、「東川の清水」と呼ばれる。「中野清水を守る会」により、美しい姿で後世に引き継がれている。

若狭町 三十三公民館

〒919-1316 若狭町井崎 59-24

電話 0770-45-3103



運本館長と村上主事



大賑わいのマルシェのようす

無理せず楽しく、地域づくりを

三十三（みそみ）地区は、人口約二千人で若狭町全体の約15%を占め、世帯数は約790世帯、11の集落から成り立っています。若狭町役場三方庁舎と上中庁舎の中間に位置し、地区内には保育所や小学校（児童数88名）、B&G海洋センター、地域福祉センター「泉」、三十三公民館といった公的施設があります。地区の南には、京都市の三十三間堂創建時に棟木を切り出したとされる三十三間山（さんじゅうさんげんざん、標高842m）があり、地区を縦断するように鰯川（はすがわ）が流れる自然豊かな地域です。

三十三公民館はJR小浜線十村駅から南方向に徒歩15分。1階建ての新しい建物で、運本館長と村上主事の二人体制で管理されています。お二人からお話を聞きしました。

みんなの力が地域のじまん

地域の事業をけん引するのは「みそみ地域づくり協議会」。「無理せず、できることから、楽しくやろう」をモットーに地域づくりに貢献されています。現在は環境・安全部会、文化・交流部会、福祉・共生部会の3部を組織し、三十三間山の山開きの協力や、みそみ朝市、小学生向けのわくわく教室・高齢者向けのスマホ教室などを実施。高齢者の買い物支援事業など幅広い活動を展開しています。

特に盛り上がるのは、「みそみフェス&マルシェ&文化の森」です。地元の色を染めしめる朝市にキッチンカーも多数出店し、ヨサコイ・ハンドベル・五湖レンジャー出演のステージや、地区の皆さんの作品展「文化の森コーナー」と盛り沢山。赤ちゃん連れの家族から高齢者までさまざまな世代が集まり、大賑わいの一日となります。

公民館は協議会の事務局を担当。会の方々の意見を尊重しながら、「無理せず、できることから、楽しくやろう」を意識して、今後も活動の支援をしていきたいと考えておられるそうです。



公民館の近くには梨園が広がっています。若狭町は梅が特産ですが梨も有名で、4月上旬には白い可憐な花が咲き誇ります。梨のキャラクター「ナンシー」と三十三間山をかたどった「みそみん」が地域をPRするマスクットです。美方高校の生徒と開催した「梨フェス」では、販売の他、クイズ大会や皮むき大会など大いに盛り上がったそうです。

行事をするとみんなが集まってくれ、そこからアイデアが生まれ、かたちになり、継続している事業もあるとのこと。地域の方々との良好な信頼関係が相乗効果となって、大きな力になっていると穏やかな表情で語ってくださいました。

おすすめ!! スポット



十村駅舎を改装した「ぽっぱ茶屋ほっとむら」。住民の憩いの場として、あらゆる世代の方が利用されています。お汁粉と、うどんが名物!

7年ぶりの
東京開催！

全国公民館研究集会 東京大会

第47回全国公民館研究集会東京大会は、令和7年11月12日(水)・13日(木)、東京国際フォーラムにおいて開催されました。全国各地から約1,080名、福井県からは32名の参加がありました。



大会テーマは「ミライにつながるひろげる公民館ー公民館に新たなイノベーションを！」。基調講演、シンポジウム、対談に加え、公民館を題材とした映画の上映が行われ、様々な観点から公民館の未来を考える機会となりました。

全国から集った参加者同士が交流を深める場面も多く、充実した2日間となりました。

この大会の映像は、令和8年2月から、全公連ホームページの『月刊公民館チャンネル』で視聴できます。ぜひご覧ください。



▲中西 彰
全公連会長



▲基調講演
山崎 亮 氏



▲ぼこあぼこ
ハンドベルアンサンブル



広報紙委員を 務めて

2年間の広報紙委員を通して、改めて公民館の魅力を再発見する機会となりました。県内の公民館への取材では、地域愛あふれる館長さん・主事さんの熱意にふれ、公民館大会やセミナーでは取材や記録をする難しさを痛感しました。自館での通常業務では得られない貴重な出会いや経験をさせていただき、ありがとうございました。
(福井市啓蒙公民館 谷口さおり)

今年度も昨年度に引き続き、広報紙委員を務めさせていただきました。2年間に亘り、福井県公民館大会や福井県公民館セミナー、県内の公民館を取材させていただき、様々な発想や取り組みを新たに知ることができ、大変勉強になりました。あわら市からの広報紙委員の派遣は、次は7年後ということ非常に寂しい限りですが、新しい広報紙委員の方に期待しております。2年間ありがとうございました。
(あわら市中央公民館 小林和夫)

右も左もわからないまま、自分の文章力の無さに嫌気がさしながらも広報紙委員を務めさせていただきました。特に公民館への取材は、現地の館長さん、主事さんのお声を直接お聞きでき、個人的にも大変勉強になりました。どの公民館もそれぞれ制約がありながらも地域の方と一緒にできることを模索し、地域活性化に努めているんだと改めて実感できました。お世話になった皆様、ありがとうございました。(越前市岡本公民館 青山七恵)



祝 ダブル受賞！福井市清水東公民館、 ～ 優良公民館 & 全国公民館インターネット活用コンクール特別賞 ～

第78回優良公民館表彰（文部科学大臣表彰）において、福井県からは福井市清水東公民館が受賞となりました。キャッチフレーズは、「清水東の宝《越前すげ笠》伝統文化継承の為に」です。誠にありがとうございます。表彰式は文部科学省にて令和8年2月6日（金）に行われます。

また、同公民館は、令和7年度第6回全国公民館インターネット活用コンクール（応募期間 令和7年10月21日～11月18日）においても、応募総数32件の中から特別賞に選ばれています。コンクールの講評は『月刊公民館（令和8年3月号）』に掲載されます。

2つの栄えある受賞に結びついた活動内容は、令和8年度の第75回福井県公民館大会にて事例発表をしていただく予定です。

福井県公民館広報紙コンクール 入賞館

Aコース

- 最優秀賞 福井市木田公民館
『木田地区広報誌 きだより』
- 優秀賞 福井市森田公民館
『もりたねっと』
- 優良賞 坂井市東十郷コミュニティセンター
『ごうちゃんひろば』

表彰式は、令和7年10月22日（水）、
第74回福井県公民館大会の席上にて行われました。

Bコース

- 最優秀賞 坂井市三国コミュニティセンター
『まち協だより「392PLUS」』
- 優秀賞 鯖江市中河公民館 『きらめき中河』
越前市北新庄公民館 『ふるさと北新庄』
坂井市竹田コミュニティセンター
『じょんころ』
- 優良賞 福井市文殊公民館
『こんにちは 公民館です！！』
小浜市加斗コミュニティセンター
『加斗だより ひまわり』
鯖江市豊公民館 『ゆたか』
越前市国高公民館 『ふるさと国高』
越前市岡本公民館 『ふるさとおかもと』

福井県公民館連合会

令和8年度事業予定

(1) 福井県公民館連合会総会

期日 令和8年6月3日(水)
会場 福井県生活学習館

(2) 福井県公民館セミナー

前期：期日 令和8年6月下旬～7月
会場 福井県生活学習館
後期：期日 令和8年11月～12月上旬
会場 福井県生活学習館

*前期・後期ともに1日開催、参加費1,000円

(3) 福井県公民館広報紙コンクール

8月中旬応募締め切り
8月下旬審査会

(4) 福井県公民館大会

期日 令和8年10月15日(木)
会場 小浜市 働く婦人の家
参加費 1,000円

(5) 第48回全国公民館研究集会・

第60東海北陸公民館大会愛知大会

期日 令和8年11月26日(木)・27日(金)
会場 愛知県一宮市 一宮市民会館ほか
参加費 3,000円

ふるってご参加ください！

令和7年度表彰受賞者

(敬称略)

全国公民館優良職員表彰

鯖江市鯖江公民館 公民館主事 福嶋 幸代

全国公民館永年勤続職員表彰

福井市社西公民館 主事 八木 恵子
 福井市社西公民館 主事 長尾 陽子
 福井市麻生津公民館 主事 柳川 和代
 福井市岡保公民館 主事 青木 加寿子
 福井市東藤島公民館 主事 木村 雅美
 福井市酒生公民館 主事 竹嶋 純子
 福井市上文殊公民館 主事 荒川 美香
 福井市啓蒙公民館 前主事 竹下 まゆみ
 小浜市国富コミュニティセンター
 コミュニティセンター主事 坂田 聖子
 小浜市口名田コミュニティセンター
 コミュニティセンター主事 舩谷 雅代
 小浜市加斗コミュニティセンター
 コミュニティセンター主事 村古 久美子
 鯖江市立待公民館 公民館主事 佐藤 光一
 鯖江市中河公民館 公民館主事 高島 絵理花
 坂井市加戸・公園台コミュニティセンター
 コミュニティセンター主事 田嶋 博美

福井県公民館連合会表彰

福井市湊公民館 館長 千秋 英幸
 福井市東安居公民館 館長 村上 勉
 福井市社北公民館 館長 間 和生
 福井市啓蒙公民館 館長 佐々木 昭博
 福井市松本公民館 前館長 下條 英子
 福井市順化公民館 主事 川瀬 美由紀
 福井市啓蒙公民館 主事 谷口 さおり
 福井市河合公民館 主事 藤田 育代
 小浜市西津コミュニティセンター
 コミュニティセンター長 竹田 茂芳
 小浜市西津コミュニティセンター
 コミュニティセンター主事 河村 美紀
 鯖江市河和田公民館 公民館主事 竹内 美紀
 あわら市細呂木公民館 事務員 谷本 典子
 越前市南中山公民館 公民館主事 長谷川佳代子
 坂井市東十郷コミュニティセンター
 コミュニティセンター主事 五十嵐ひろみ
 坂井市春江中コミュニティセンター
 コミュニティセンター主事 友田 美穂子
 坂井市のうねの郷第二コミュニティセンター
 コミュニティセンター主事 高木 京子



上記の方々への表彰は、令和7年11月12日(水)、第47回全国公民館研究集会東京大会において行われました。



上記の方々への表彰は、令和7年10月22日(水)、第74回福井県公民館大会において行われました。

「こうれんふくい」第95号

《発行》 福井県公民館連合会

〒918-8135 福井市下六条町14-1

福井県生活学習館2階

TEL/FAX (0776) 41-4077

E-mail f-kouren@kore.mitene.or.jp



WEB サイト



Facebook

《編集》

広報紙委員会

福井市啓蒙公民館

あわら市中央公民館

越前市岡本公民館

福井県公民館連合会事務局

谷口さおり

小林 和夫

青山 七恵